

□ 令和元 年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2 年度 実施計画調書 (□ 新規 □ 拡充 □ 縮小 □ 休止・廃止 □ 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	053												
事務事業名	農業振興事業費(振興係分)				補助区分	□ 国補 ■ 県補 ■ 市単			最終期	□ 決まっている (年度まで) ■ 決まっていない		予算科目	区分	一般会計		款	06	項	01	目	03	事業	01
担当部	産業振興部	担当課	農政課		担当係	振興			係														
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略				<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市農業基本計画)				根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市補助金交付規則, 常総市農業振興補助金交付要綱)													

2 事務事業の目的										当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。													
現状課題	農産物価格の低迷及び経営コストの上昇による経営環境の不安定化や、少子高齢化の進行による国内需要の先細りが見込まれるなど、農業をめぐる情勢は近年劇的に変化している。				誰・何を対象に	農協、認定農業者、農業者及び農業者等で組織する団体。				望ましい状態	補助事業や市の制度等の活用により収益性の高いモデル的な担い手農家をより多く育成することで、他の担い手農家に横展開が可能となり、儲かる農業を実現していく。												
どのような方法・手順で					どのような方法・手順で	・農業者や農業関係者が主体となって展開する創意工夫ある新たな取り組みを支援する。 ・ブランド化や輸出などの新たな取り組みや、ICTや高性能機械等を活用した低コストで高品質な農作物が生産できる仕組みの導入を支援する。																	

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。												
指標名	補助事業や制度等の活用者数	単位	件	目標値	20	目標年次	毎	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	補助事業のほか、農業ヘルパー事業やアグリオーナー制度の活用者数を目標値とすることで、本事業の効果を計る指標とする。												

4 事務事業の実績 ①										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。														
年度	平成28年度				平成29年度				平成30年度															
	業務名				業務名				業務名				活動量											
事務事業を構成する主な業務	①	いばらきの園芸産地改革支援事業 3,283,000			1	件			①	いばらきの園芸産地改革支援事業 3,194,000			1	件			①	儲かる産地支援事業 1,820,000			1	件		
	②	がんばる農家応援事業 1,581,000			4	件			②	がんばる農家応援事業 1,308,000			4	件			②	がんばる農家応援事業 288,000			2	件		
	③								③								③	常総市農業ヘルパー事業						
	④								④								④							
	⑤								⑤								⑤							
	⑥								⑥								⑥							
	⑦								⑦								⑦							
	⑧								⑧								⑧							
	⑨								⑨								⑨							
	⑩								⑩								⑩							
	⑪								⑪								⑪							
	⑫								⑫								⑫							
目標値に対する実績値		5		件		目標値に対する実績値		5		件		目標値に対する実績値		3		件								
決算額	計	4,864,000	円	内訳	特定財源	3,283,000	円	計	4,502,000	円	内訳	特定財源	3,194,000	円	計	2,108,000	円	内訳	特定財源	1,820,000	円			
					一般財源	1,581,000	円					一般財源	1,308,000	円					一般財源	288,000	円			
		(住民一人あたりの行政コスト)		80		円		(住民一人あたりの行政コスト)		74		円		(住民一人あたりの行政コスト)		35		円						

5 担当者評価 ②										実施したことによる成果や問題点を記入してください。												
成果	ほぼ目標どおり	成果内容	・いばらきの園芸産地改革支援事業 常総ひかり農業協同組合の園芸部会に対し3年間で5台のコスト低減や作業省力化のための高性能機械等の導入費の1/3を助成した。 ・がんばる農家応援事業 3年間で10件の認定農業者等に対し新たな取組に係る費用の1/2を助成した。																			
	問題点	平成30年度については、申請取下げや計画より実績が伴わないケースがあり、目標件数に達しなかった。																				

6 担当部長及び担当課長評価 ③										担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。												
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止												
評価理由										少子高齢化の進行による国内需要の先細りが見込まれるなど、農業をめぐる情勢は近年劇的に変化している中で、市としてもインターチェンジ周辺開発事業のアグリサイエンス構想に基づき、農業の活性化を図っていくうえで様々な施策を展開し推進した。引き続き継続して事業推進に当たっていく。												

7 実施計画 ④										今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。												
年度	令和元年度				令和2年度				令和3年度													
事業内容	・(県単)儲かる産地支援事業 812千円 ・常総市農業ヘルパー事業(継続) 農業ヘルパー及び雇用希望者を登録した台帳を整備し、相互に閲覧し直接契約を結べる仕組みである。マッチング数を増やすために周知や農業者の労働力不足を補い、雇用機会の拡大、市内外の住民の交流を推進していく。 ・常総市アグリオーナー制度事業(制度構築・参加農家募集期間) 消費者が農産物のオーナーとなり生産者の農作物を年間契約し、収穫作業等の農業体験を楽しむとともに、一定の収穫分が保障されており、農作物を受け取る制度。サービスや契約内容は自由とし、各生産者のやる気や創意工夫を促す仕組み。 市の役割は制度構築(利用条件の明確化等)するとともに、ホームページやパンフ等で募集援助を行い、地域資源である農業の活性化を図るとともに、生産者の所得増加、交流人口拡大を図る。 ・第58回茨城県茶業振興共進会負担金 150千円 本県の茶業振興を目的に生産者組合や自治体等で構成され、全国農林水産祭参加行事の一環として毎年品評会を開催し、優れた生産者に対し表彰を行っている。今年度は当市と八千代町の共催で実施する。				・(県単)儲かる産地支援事業 3,306千円 ・常総市農業ヘルパー事業(継続) ・常総市アグリオーナー制度事業(利用者募集スタート) ・道の駅における生産者の出荷体制構築等の支援 2022年度末の開業を目指す道の駅において、指定管理者及びアグリサイエンスバレー推進チームとともに、地元生産者の出荷体制等の構築を行い、所得増大、生産意欲向上につなげる。 ・(国補)強い農業・担い手づくり総合支援交付金申請に向けての事業調整 常総IC周辺整備事業の農地エリアに進出する農業法人が次世代施設園芸等の産地基幹施設の導入を検討していることから、2021年度の補助金交付申請に向けて事業者や国県と事前調整を行う。				・(国補)強い農業・担い手づくり総合支援交付金 2,000,000千円 常総IC周辺整備事業の農地エリアに進出する農業法人に対し、次世代施設園芸等の産地基幹施設の導入にあたり、助成を行う。 ・(県単)儲かる産地支援事業 3,000千円 ・常総市農業ヘルパー事業(継続) ・常総市アグリオーナー制度事業(継続) ・道の駅における生産者の出荷体制構築等の支援(継続)													
	成果指標	指標名	補助事業や制度等の活用件数	単位	件	目標値	20	指標名	補助事業や制度等の活用件数	単位	件	目標値	40	指標名	補助事業や制度等の活用件数	単位	件	目標値	60			
予算額	歳出	計			2,912	千円	歳出	計			4,456	千円	歳出	計			2,004,150	千円				
		特定財源			812	千円		特定財源			3,306	千円		特定財源			2,003,000	千円				
	歳入	一般財源			2,100	千円	歳入	一般財源			1,150	千円	歳入	一般財源			1,150	千円				
		計			2,912	千円		計			4,456	千円		計			2,004,150	千円				

8 財務アドバイザーの見解										『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、可能な限り市の一般財源を用いない予算要求を行い、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。												
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

9 行政改革懇談会(市民)の意見										担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。 農業を巡る情報変化を的確に捉え、農業活性化に向け引き続き様々な施策を展開して欲しい。アグリサイエンスバレー構想や道の駅整備事業と合わせ、一体的に農業の生産性向上を目指すことを期待する。												
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤										実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。												
事務事業の方向性										<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止												
評価理由										農業経営安定のためには、「儲かる農業」を目指す上での重要な施策の一つである。本年作成した「農業基本計画」を基に、来年度に向けた新規事業を今年度中に立案し、経営の強化・安定を目指し、農業の活性化を図るべきである。												

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ⑥										実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。												
事業内容										2019年度は事業拡充し新規事業「アグリオーナー制度」の制度構築(見込み)し、次年度以降は利用者募集を行い、制度活用件数を増加させる予定。 また2021年度については、補助金申請額増額の関係で、予算の大幅拡充が求められることから、次年度は、常総IC周辺整備事業の農地エリアに進出する農業法人に対し「2021年度の強い農業・担い手づくり総合支援交付金」の申請支援のため、事業者及び国県と事前調整を図っていくと考えている。												